専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	産業経済・都市基盤整備・交通部会
開催日時	令和８年２月２日　19時50分　～　21時00分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎４階第１委員会
出席委員	出席者：石田委員、浅野委員、臼田委員、鎌塚委員、木全委員、高橋委員、田中委員、森委員 欠席者：小川委員、古家委員
事務局出席者	山田経済部長、東建設水道部長、櫻田総合政策室長、佐藤建設水道部次長、佐藤農務課長、開発建設課長、太斉都市整備課長、木下産業振興課主査、横澤総合政策課主事
審議事項	**１　開　　会（佐藤農務課長）** **２　主幹部長挨拶（山田経済部長）** 専門部会については、より具体的な基本計画を検討する場になっている。 本日は２次計画の進捗状況について、振り返りながらご説明するとともに、本日いただいたご意見は、基本計画のたたき台を作る際の検討材料とさせていただきたい。皆様には引き続きご協力をお願いしたい。 **３　議　　事** （１）部会長・副部会長の選出について ⇒選出方法について、委員からご意見等ないため、事務局から腹案を提案 部会長に高橋　直樹 委員 副部会長に小川　和則 委員、鎌塚　英明 委員 ⇒異議なし。それぞれ決定。 （２）第２次総合計画の進捗について ⇒資料「名寄市総合計画（第２次）の進捗状況について」を基に、本部会の所管部署の内容について、事務局から説明。 説明後委員から質問意見等を受けた。 ※所管部署の事業は別添「名寄市総合計画（第２次）施策の体系」に記載のとおり **４　そ　の　他（佐藤農務課長）** 今後の日程については3月に入ってたら何度かお集まりいただくことになる。その際は再度調整をさせていただく。 **５　閉　　会（佐藤農務課長）**

発言内容	**<u>○建設水道部の内容に関する意見等（基本目標Ⅲ－８～１２まで）</u>** ■委　員　アンケートの結果として満足度が低くて重要度の高い、除排雪と道路状況についてどこを改善すればいいのか。除排雪については札幌市の状況などと比べるといいと思う。市民の皆さんに名寄市の除雪のレベルや他市町村の状況などが市民に伝わっていないのではないか。アンケートの結果についてどのように分析されているか。 ◎事務局　道路の整備状況については、春先の凍上などによって道路が凸凹になる。市民からは車で通れない、危ないという意見をいただいている。直すためには道路の路盤の砂利を入れ替えなければならない。上っ面だけ替えるとすぐに同じ状況になる。しかし、費用はかかる。除排雪については意見がわかれる所である。市民の方から意見を聞きながらできるところを対応するという現状である。 ■委　員　定住の観点でも大きな課題になっていると思う。限られた財源の中で課題をしっかり捉えて行っていくべきである。 ◎事務局　間口の除雪のご意見が多い。すべてを対応するのは物理的に厳しい。自治体によってもやり方違う。他の街などから来る人によって意見が全く違う。アンケートの中では、大学生から除雪について高評価の意見もいただけたのは嬉しいところである。 ■委　員　自治体によっても対応違う。名寄市の除雪が良いと言う方もいる。全体的にみると名寄市の除雪は良いほうだと個人的には思っている。 ■委　員　公営住宅を含めた住宅施策についてどのように考えているか。リフォームの助成も行っているが、住環境の質を上げることが重要であり、定住化が進み長く住んでもらえるようになっていく。住宅施策を括るマクロ的な部局が無いので、市全体で住環境をどうしていくのかという部分が考えられるといいのではないか。 公営住宅以外の住宅も含めて管理していくことで公共事業が減った穴を埋めていけるのではないか。次期総合計画でその部分について考えていけるといいのではないか。 ◎事務局　ご意見として賜りたいと思う。２次までは住宅の整備、３次では住環境の整備に名称として変わって行きそうな流れである。新築支援やリフォーム補助になるのかは定かではないが、住環境が整った住まいの供給も一つの施策として必要なプロセスだと思う。新築がいいのか、 住宅改修の補助の内容を変えていくのか、住環境の改善について部署 は横断的になるが、何かしらの素案を作っていくことになると思っている。 ■委　員　民間事業者とも話し合いながら、進めていってほしい。限られた予算でもできることもあると思う。

発言内容	**<u>○総合政策部の内容に関する意見等（基本目標Ⅲ－１３）</u>** ■委　員　アンケートでも課題多いところかと思う。のルートについては試験的な運行を始めたところかと思うし、要望が多いところだと思う。またバスの減便も増えているので要望が多いところかと思う。 ◎事務局　人口減少によって利用者も減り、バスを走らせたいが運転手がいない現状である。これまで高速バス（札幌行き）が便数豊富であったが、今は２便しかない状況。ウェルビーイングのアンケートでもギャップが大きい現状。市内での移動と市外での移動どちらが課題なのかも検証していきたい。 ■委　員　都市間バスについては計画の中に入れていってほしい。 札幌市へのアクセスの良さは重要。JRの動向もはっきり見えない中で、バスとの議論についても進めていかなければならないと感じる。また、関係人口の創出について検討する中でも重要な要素だと思う。 ■委　員　名寄市から札幌方面のバスを維持することは、札幌方面から名寄市へのバスを維持することにもつながる。市民の交通を守ることは観光客が来るというところに繋がっていく。そういう考えで議論をお願いしたい。 **<u>○経済部の内容に関する意見等（基本目標Ⅳ－１～６まで）</u>** ■委　員　農業振興センターのあり方について、農家さんやメーカーからも情報が得られる。昔とは状況変わってきている。担い手に特化することも必要ではないか。相対としてニーズは高くないのでは。選択と集中について考えるべきではないか。 ◎事務局　あり方についてどこに特化していくか検討中である。総合計画と同時並行で農業振興計画も検討中。その中でも示していく必要あると考えている。 ■委　員　公共施設の再配置に対する事業者や市民の期待大きかった。期待が大きいので、遅れることによる影響大きい。民間からの提言もある。できるだけ早期に考えが示されることを望む。 ◎事務局　民間の私有地の利用について検討を進めている。場所が決まらなければ話も進まない。時期を明示できるかはわからないが、取り組む意思を表示するのと、市民の皆さんの期待を裏切らないように進めたい。 ■委　員　議会で明言するのに、話が進んでいない現状。議会軽視、市民軽視とも捉えられる。しっかり説明されないと、段々と市民・事業者が信頼ができなくなってくる。何かしらの説明がないと納得いかないこともある。 ■委　員　観光の振興について、観光消費額に重きをおいてほしい。そこに不随してインバウンドは欠かせない。宿泊施設やホームページなど英語表記の対応が少ない。消費額につなげられるソフト・ハード整備は必要。 ◎事務局　インバウンドの対応については盛り上がった時期もあったが、コロナで需要が少なくなり、最近需要が出てきている。一般的に消費額が多いと聞く。行政と事業者が協力してお互いに気持ちを高めながら取り組んでいきたい。宿泊に繋げていけるように仕組みを考えていく。